

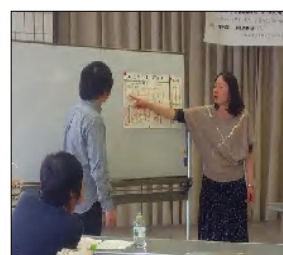
とよなか

子ども達の豊か
な成長・発達の
ために皆で力を
合わせましょう！

教え子を再び戦場に送るな！ 2014年4月18日発行NO. 521

新年度スタート 学び つながる 教職員として力量を高めよう！

新歓
フェスタ
4月5日



二〇一四年度がスタート
しました。
全教豊中は4月5日に新
歓フェスタを福祉会館で
おこない30名が参加しま
した。
今年のテーマは『子ども
たちと信頼関係を結ぶこ
とのたいせつさ』。
講師は、元教員の甲斐
真知子さん（相愛大学講
師）
・知り合う。出会いのその日
から
・教室に入ってこない子、学
校にこない子との信頼関係
・教室が「荒れ」はじめたと
感じた時、どう信頼関係を結
ぶか
・いじめ・いじめられの出来
事が起こった時
・授業の中でこそ、信頼関係
を豊かに
などなど…

毎日子どもたちと過ごす
私達が本当に大切にしてい
きたいことをお話され
ました。
子どもたちを人として
尊重される甲斐先生の教
育観に、心あたたまり、
みんなと一緒に進んでい
こう、と勇気を得た『新
歓フェスタ』になりました。

《参加者の感想》

○何度もうるつとしました
もうすぐ入学式。自分のク
ラスの子どもたちと会うの
がとっても楽しみになりま
した。

今までは学生サポーター
としてしか子どもと関わっ
てこなかったので不安もいっ
ぱいですが、子どもとまず
信頼関係を築いていきたい
と思います。

甲斐先生から聴いた話を
胸にききと、とりあえず
はこの一年間、全力で子ど
も達と向き合いたいと感じ
ました。

ありがとうございました！
(Oさん)

二〇一四
パワーアップ
講座もスタート

四月十二日(土)は、
何森真人さんを講師にお
迎えして、第一回パワー
アップ講座を開きました。
この日は『算数・高学
年』。4年5年6年でつ
まづきやすい学習や、単
元の目的、教え方の工夫
などを学習しました。

《参加者の感想》

○頭がやわらかくなるお話
でした。子どものまわがい
のお話がおもしろく…今日
はそれが楽しく聞きました。
そんな算数の苦手な子、こ
だわりの子がいる中で、や
さしくよりそって授業され
ている先生のお話がよかつ
たです。
刀根山・川崎



豊中市長選挙

無投票で浅利氏が市長に

市民の要求 教職員の願いに応えた豊中市の実現を

豊中市長選挙についての見解

2014年3月24日
あかるい豊中市政をつくる会

あかるい豊中市政をつくる会(以下、明るい会と略す)は、市長選挙に臨むにあたり、維新の政治を豊中市政に持ち込ませないの一点で、共同を広げようと運動してきました。

維新の会は、第一に福祉や教育の切り捨て、第二に何でも民営化、第三に職員に絶対服従を強いる政治を進めており、この政治が豊中に持ち込まれると、福祉の向上をめざす地方自治体本来の役割が破壊されていくことにつながりかねません。

浅利敬一郎市長は、「大阪都構想には反対」との姿勢を貫いてきました。

そこで明るい会は、この点での共同を大切にし、維新の会に市長候補を擁立する余地を与えないため、今回の市長選挙については候補者擁立を見送ることにしました。維新の会が市長候補を擁立すれば、浅利氏の当選のために力を尽くすものです。

明るい会に結集する団体は、4年前に掲げた公約や切実な要望について、この間、署名活動や請願などの運動を広げ、実現に努力をしてきました。

その結果、国民健康保険料の2年連続の値下げ、こども医療費助成の所得制限の撤廃、保育所待機児解消のための入所枠の拡大、放課後こどもクラブの時間延長、少人数学級の拡充、介護保険料の減免などの施策が前進できました。また、浅利氏も「行革一辺倒」の姿勢を改め、住民の声に耳を傾ける変化が感じられます。

明るい会は、引き続き、国民健康保険料の引き下げ、こどもの医療費助成の中学3年生までの拡充、認可保育所の増設、小中学校に35人学級、リフォーム助成制度の創設などの住民要望の実現に取り組むとともに、市民の願いを大切に市政へ本格的に転換するために全力を尽くします。

浅利氏は、憲法9条を守る国政の課題についても「日本国憲法にうたわれている平和の理念を基調とした非核都市宣言などを踏まえつつ、平和主義、民主主義、基本的人権の尊重をあらゆる行政分野に生かすことを市政運営の柱に据えてきた。このことは、今後とも変わるものではない」と、表明しています。この点も、浅利氏の今後の施政の中で、より生かされることを、明るい会は期待しています。

4月13日に告示された豊中市長選挙。現職の浅利敬一郎氏が無投票で当選しました。豊中市長選挙が無投票になったのは一九七八年以来。

この間、大阪府や大阪市の各首長の維新の会への推薦の切り捨て、府下の福祉の政治介入の動きがすすめるられてきた。

豊中全教組は、この日に見解を表明して、浅利市長に対する現時点での評価を行っています。



全教組は、引き続き豊中において、教育への政治介入の動きに反対するとともに、教育環境・教育条件の整備を求めていきます。

府下の各自治体(高槻市・枚方・門真等)ですすめられてきている市独自の少人数学級の推進を豊中で強く求めていきます。

ました。

今回の豊中市長選挙において「あかるい豊中市政をつくる会」は3月24日に見解を表明して、浅利市長に対する現時点での評価を行っています。